

# 「ありがとうございます」をいつまでも

社会福祉法人カナンの園

生活介護事業所ヒソプ工房  
生活支援員 藤田 敦一

私がヒソプ工房で働かせていただいたから、4年目を迎えました。これまでの歩みを振り返った時に「ありがとうございます」という言葉が浮かんできます。福祉の仕事に携わることなど夢にも思っただけのことなかつた私が、どういふ巡り合わせなのか今の仕事を与えられています。

4年前の春、「障がいを持つ」といわれる利用者さんと私は出会いました。食堂での朝礼で紹介された私は、何を話して良いのかも分からず「釣りが好きです」と精一杯の言葉を絞り出しました。



写真中央が藤田さん

すると、予想に反して「おお！」と歓声が上がります。あっという間に私はヒソプ工房の仲間入りをするのでした。ヒソプ工房の皆さん「ありがとうございます」。「販路拡大コーデイナー」という馴染みのない職名で始まったヒソプ工房での仕事。これまでの仕事で菓子製造には携わっていたものの、それを「利用する方々の作業」にマッチした形にしていくなため、思考錯誤の繰り返しでした。

「こうやれば美味しくできあがる…」しかし、それを彼等に伝える術を自分が持ち合わせていないもどかしさ。そんな辛い時にも、作業に関わるメンバーが「藤田さん」と優しく声をかけてくれました。その一声にどんなにはげまされたことでしょうか。私が所属する「作業三課」の皆さん「ありがとうございます」

もともと口下手な私は、外に出歩くことがあまり得意ではありませんでした。(今も変わりありませんが…)。「勉強、勉強」と言い聞かせ、会議やイベント販売に出かけて

います。

自分たちが作った商品を、どのような手法でお客様にお届けするのかわかりません。少しくつこの世界の魅力を感じるようになってきました。そして、イベント販売では「売れば良い」のではなく、その商品に込められる「利用者さん一人ひとりの物語や夢」をお客様へ伝えるために、自分なりに考えて売り場に立つようになつたように思います。

商品が売れた時の喜びは、日増しに強くなってきました。商品をお買い上げいただいた皆様「ありがとうございます」。

いよいよ「いわて国体・いわて大会」も迫ってきました。新商品の開発、当日に向けての企画が進んできています。正直、自分にどこまでやれるのかわかりません。やるべきことしかできませんが、これまでと同様に皆さんの力を借りながら、一步一步進んで行きたいと思っています。

感謝することを忘れずに、ヒソプ工房の皆さんの幸せを祈りながら、これからの仕事にも励んでいきたいと感じています。

皆さまこれまで「ありがとうございます」を、そして、これからの「ありがとうございます」を、ぜひともよろしくお願い致します。

## 上司からのメッセージ

職人気質のパティシエ  
ヒソプ工房所長 阿部 孝司



藤田さんには、2011年4月に福祉事業所生産性向上事業の販路拡大コーデイナーのパティシエとして仲間に入ってもらいました。とても誠実で奥ゆかしい雰囲気があります。職人として一本筋が入ったところが、新製品の質には妥協を許しません。ところが、パティシエなのに甘いお菓子が苦手、味見だけで胸焼けしてしまうという面白い人です。

一方、藤田さんが開発した新商品には「グロッカムール」「シューラスク」「ビスコッティ」「シフォンケーキ」などがあり、更に他事業所に赴き「フルーツタルト」の開発や技術指導を行っています。利用者の皆さんも「髭のパティシエ藤田さん」が大好きで、休み時間には会話と笑いが絶えません。製造だけでなく利用者と共に販売に立っていることも多いので、見かけたらお気軽に声をかけてあげてください。洋菓子サイドからの福祉の理解者として、これからもよろしくお願ひ致します。

## 2016希望郷いわて大会(全国障害者スポーツ大会) 参加宣言募集とボランティア募集

申込みください。  
宣言の一例：「あいさつをします!」「来県した皆さんを歓迎します!」など

◆ボランティア募集  
若手県では、大会の運営に協力いただけるボランティアを募集しています。高校生以上(平成28年度現

在)ならどなたでも応募できます(中学生は保護者の同意があれば可)。皆様のご協力をお願いします。

お問い合わせは  
☎ 019 (629) 6297  
fax 019 (629) 6299  
WEB <http://www.iwate2016.jp/>

## information

◆参加宣言募集  
平成28年10月22日(土)~24日(月)開催の「2016希望郷いわて大会(全国障害者スポーツ大会)」の「盛り上げ活動」「おもてなし活動」などで「大会への参加を宣言し、みんなで大会を楽しもう!」という取組みです。グループ単位でお

## 表紙写真●笑顔の福祉

今年も「じぶんの町を良くするしくみ」をテーマに、赤い羽根共同募金運動が県内各地で展開されています。10月1日の共同募金開始セレモニーでは、夢つむぎ城南によるコーヒーの試飲コーナーが設けられ、キンダーホーム園児が「わんこダンス」を披露。桑島博県共同募金会会長の挨拶のあと、企業・団体から寄付金が贈呈されました。

広報「パートナー」は本会のホームページでもご覧になれます。お問い合わせは県社協総務部 ☎019-637-4466まで。

☎若手県社会福祉協議会ホームページアドレス <http://www.iwate-shakyo.or.jp/>